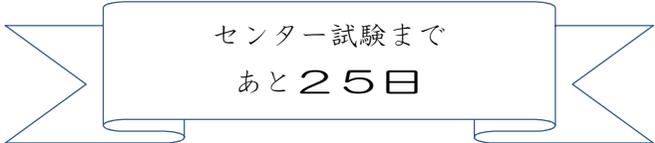


2015年も残り10日を切りました。6年生は入試シーズンに突入し、4・5年生も自分の進路選択を慎重に見つめるべき時です。不安な気持ちに負けず頑張りましょう。



センター試験まで
あと25日

◎センター試験の受験票が配布されました

受験票を手にして、入試への緊張感も高まってきたことと思います。「**受験票**」の記載事項を確認するのはもちろん、「**受験上の注意**」もしっかり読みましょう。

【わかっていますよね?】

- ・登録した教科以外は受験できません。
- ・「地歴・公民」「理科」を2科目受験で登録した人は、遅刻すると2科目とも受けられません。1科目のみで途中退出もできません。
- ・志望校の第1解答科目と第2解答科目の取り扱いを要項で確認しておくこと。

【「まさか」に備えよう】

- ・試験当日に事故や急病になったり、受験票を忘れていたりするなど、トラブルが発生する可能性がゼロではありません。どこに連絡し、どうすればいいのか、「**受験場の注意**」を必ず読んで確認しましょう。
- トラブル時に「**学生証**」提示が求められることがあります。
生徒手帳（学生証）も必ず持参！

【冬休み中に下見を】*その他の受験校も！

- ・できれば事前に試験会場を下見しておきましょう。1時間前に会場到着を目安にしましょう。
- ・試験当日は電車やバスも土日ダイヤになるので、その点にも注意が必要です。
- ・1月中旬は雪が降る可能性も高い時期。道順などもチェックしましょう。

◎体調管理を！

冬本番。寒さも厳しくなり、体調を崩しやすい時期です。自分の力を最大限に発揮するためにも、体調管理がとても大切です。

- ・脱「夜型」 → ベストコンディションで試験に臨める生活リズム
- ・引き始めは無理をしない → 薬を飲み早く寝るなど、長引かせない努力
- ・栄養のある食事と睡眠 → 受験を乗り切る体力
- ・風邪を引かない工夫 → マスクだけではダメ。冷えと乾燥は大敵！

◎ 1 1 月模試から 1 月模試へ

1 1 月模試とは

【4年】高校1年生後半時点での学力を測り、新たな課題を発見することが目的。

「わからない」教科を「苦手」教科に変えないように食い止めよ！

【5年】初めての5教科実施。総合力を測り、新たな課題を発見することが目的。

「入試は5科目の総合力」で勝負。

国数英の完成度と理社の理解度を自覚し、入試への布石を打つべし！

1 1 月模試の結果を見ただけで終わっていませんか？

偏差値や順位、志望校判定よりも大切なのは「今後の課題」。

模試によって示された「今後の課題」を冬休みにクリアして1月模試に臨みましょう。

1 月模試とは

【4年】1年間の学習成果を測り、春休みの目標を設定することが目的。

【5年】受験学年に向けて、2年間の学習成果を測るのが目的。

配点、時間ともにこれまでと異なることから、「受験色」が強くなる模試。

	5年11月まで		5年1月から
<国語>	100点・80分	→	200点・90分
<数学>	100点・100分	→	200点・120分
<英語>	100点・80分	→	200点・90分

模試デジタルを上手に活用！

<目的> ①日頃から模試を意識する

- ・自己採点と成績の差から、自分の答案認識の甘さを知る
- ・目標を定め、それを達成できるように準備をして模試を受ける

②すき間の時間を学習時間に変える

- ・スマホを持っている時間を少しでも学習を意識する時間へ

「模試デジタル」だけで復習するものでは決してありません。

復習は机に向かって、じっくり問題と格闘し、それを繰り返してこそ力に変わるものです。

でも、まずは「模試への意識」＝「学習課題意識」を持ちましょう。

◎ 5年生は「志望理由」を深めよう

次年度の教科選択が終わりましたが、今こそ、「志望理由」を深めるときです。

「なぜ、その学部学科なのか」「なぜ、その大学なのか」「大学卒業後はどのように生きていきたいのか」など、じっくり考え、他者に説明できるようにしましょう。そこまで深めた「志望理由」を持つことができれば、第一志望を貫く覚悟も決まります。